

(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターの整備について

大田区 子ども家庭支援担当部長 酒井 敏彦

日頃より地域のみなさまには子育て世帯へのご支援をいただきありがとうございます。

区は、こどもと家庭の相談支援を強化するため、区立児童相談所と子ども家庭支援センターが一体となった「(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター」の整備を進めてまいりました。

設置に向けては、他自治体に職員を派遣し人材育成を図ってきたほか、区内児童養護施設や里親等との連携体制の構築及び旧大森西特別出張所跡地での施設整備に着手し、令和8年度中の開設に向けて準備を進めてまいりました。

このような中、昨年度、東京都と児童相談所整備について意見交換をする機会がありました。その際、東京都から「大田区単独を管轄する都立児童相談所の設置について考慮する考えもあり、大田区の意向を伺いたい」と伝えられました。

区は準備状況等を含めて分析する中で、これまでの東京都の児童相談所運営の経験と、区の子育て支援の強みを融合することは、その相乗効果により、さらなる子育て環境の向上に資する最適な方策になると考えました。

そのため現段階では、「(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター」の下で、東京都立児童相談所と区の子ども家庭支援センターが一体的に運用体制を構築し、地域の支援をより充実させていくとの結論にいたりしました。

今年度は、この準備を加速させるため新たに開設準備室を設置しました。

区は、引き続き令和8年度中の開設に向けて準備を進め、こども達の安全・安心の確保を最優先に、虐待の未然防止から専門的支援を切れ目なく実施する「(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター」を整備してまいります。

皆様には今後ともご理解・ご支援を頂きますようお願いいたします。



令和8年度開設予定の
(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター
外観イメージ図

令和6年度 子育て応援コーナ一年間行事予定表

○出前講座「親子で遊ぼう!!」(10:00~11:30)

4/16 (火)	美原文化センター	10/8 (火)	萩中集会所体育室
5/17 (金)	エセナおおた多目的ホール	11/22 (金)	嶺町文化センター体育室
6/20 (木)	せせらぎ館多目的室	12/24 (火)	大田文化の森多目的室
7/19 (金)	羽田文化センター体育室	1/10 (金)	大森スポーツセンター
9/10 (火)	カムカム新蒲田 B2	2/18 (火)	大森北四丁目複合施設

○子育て講座 (10:00~11:45)、11/20(13:30~16:00)

6/21(金)【Luz 大森】「子どもとの上手な向き合い方」10:00~11:45 講師:千葉大:冨田久枝さん、
11/20(水)【せせらぎ館】「子育てが楽しくなる講演会」13:30~16:00 講師:リンゴの木代表 柴田愛子さん
2/25(火)【アプリコ小ホール】「子育ての心が軽くなる講演会」10:00~11:45 講師:リンゴの木代表 柴田愛子さん

○子育てサロンキッズな【キッズな大森 | 階子育て応援コーナーで開催】

お話し会(第1木曜日)14時~15時
お茶会(①第2金曜日、②第4金曜日)、①・②ともに10:30~11:30
手作り会(第1月曜日)10:30~11:30
ベビーカーメンテナンス(第3木曜日)14:00~15:00(サードエイジ・サロン)
◎ベビーカーメンテナンスは「キッズな大森」以外でも開催しております。
○キッズな蒲田:第2金曜日:13:30~14:30、○キッズな六郷:第2火曜日:14:00~15:00
○キッズな洗足池:第4月曜日:14:30~15:30
◆子育てひろばでも、2か月に1回ですが開催しております。
①子育てひろば羽田、②子育てひろば仲六郷、③子育てひろば新蒲田

子育て講座受講記(柴田先生の子育て中のみなさんの心が軽くなる講演会)

2月27日、アプリコ小ホールにて、柴田愛子先生の講演会が開かれました。先生は「りんごの木保育園」での保育のかたわら、講演、絵本作り、メディア出演を通して、「子どもとおとなの気持ちのいい関係づくり」を目指しておられます。元気が出ると評判のお話を少し紹介します。

*今は専門家の話やいろんなネットの情報を必死で取り込んで、子どもにも知識で対応しようとする人が多い。でも、子どもは本能のまま、五感で敏感に感じながら生きている。大人も本音でぶつかればいい*子どもは自ら育つ力を持っている。何度言ってもやめないのは、大人を困らせたい訳じゃなく、それが今、発達の上で大事なことから。できるようになって飽きたらやらな

くなる。逆に、何度言ってもできないのは、まだそれができる発達段階にないから。成長を待つことも大事*人に迷惑をかけてはいけないと思いついて、子育てが苦しくなってしまう人が多い。例えば下の家に迷惑をかけないように、走らない!跳ばない!と叱ってばかりとか。でも子どもはみんな迷惑をかける存在。下の家に、子どもを連れて「この子がいつもうるさくしてすみません」と挨拶に行けば良い。時々おみやげを持って行ったりして関係ができると、下の人も子どもも相手のことを考えるようになる。そういうのが無理な人は、1階の部屋を見つけて引越せば楽になる*子どもを預けるのは良いこと。親以外に頼れる人がいること、人を信じて良いことを子どもの頃に知るの大切だから。

南六郷児童館

〒144-0045 大田区南六郷一丁目 29 番 1 号
電話/FAX:03-3739-4452



前にはお山の遊具のある公園、後にはショッピングセンターと子育て中には、回りやすい動線にある児童館です。幼児さんが9時から17時まで利用出来る多目的室があるのが特徴です。

取材の日は、10:30~10:45のヒヨコタイム。

まず、初めてなので自己紹介、なんと参加のママは懐かしそうに、子どもの頃ここに通っていた話も。マッサージのお歌ではウーウーと声を出しているお子さんも、気持ち良かったのでしょうか。11時から体操の時間。小さなお子さんを抱っこやおんぶで参加しているママの笑顔と、アンパンマン体操と一緒に参加しているパパの恥ずかしそうな笑顔、暖かい雰囲気子ども達も楽しそうでした。

◎乳幼児向け活動

赤ちゃん、幼児の活動は、曜日によって対象内容を変えています。主に、体操、手遊び、読み聞かせ、子育てに関する情報交換などを行っています。

- ◆ひよこタイム(赤ちゃん):(火 10:30~11:00)
- ◆ひよこミニ(赤ちゃん):(金 10:30~10:45)
- ◆ぴよんぴよん(乳幼児):(水 11:00~11:30)
- ◆お楽しみルーム(乳幼児):(火~金 9:00~12:00)

あなたの近所の児童

南馬込3丁目児童館

〒143-0025 大田区南馬込三丁目 3 番 7 号
電話/FAX:03-3773-7498



閑静な馬込の高台に立ち、正面には馬込第二小学校、裏は公園に隣接した児童館です。1階には、受付、遊戯室があります。2階は、学童保育室、工作室、図書室になっています。令和4年4月より、東急キッズベースキャンプが業務委託を受け運営しています。

最初に校内の学童保育・児童館も経験された所長に最近課題になっている、共稼ぎ家庭の増加に伴う、学校が終わった後の生徒の放課後対応について意見を伺いました。関係者は問題解決のため努力されていることが理解できた。難しい課題ですが検討し改善をお願いしていきたい。

◎乳幼児向け活動

赤ちゃん、幼児の活動は、曜日によって対象内容を変えています。主に、体操、手遊び、読み聞かせ、子育てに関する情報交換などを季節行事やお楽しみ会などは、親子で楽しみながら参加できます。

◎月曜日・火曜日…体操しよう。

◎水曜日・金曜日…赤ちゃんと一緒に。

◎木曜日…体操しようプラス

◎遊戯室の利用は9:00~14:00、

ランチタイムは12:00~13:00